



MECENAT

AWARDS

2001

メセナ大賞 2001

社団法人 企業メセナ協議会



メセナ大賞2001

「メセナ大賞」は、企業によるメセナ活動の充実と
本活動への関心を高めることを目的として
1991年に創設されました。

日本に所在する企業および企業財団によって
2000年4月以降におこなわれたメセナ活動のなかから
芸術文化の振興に高く貢献した活動を表彰いたします。

大賞以外の賞の名称については
それぞれの活動の評価ポイントを反映させて
審査委員会にて考案、決定いたしました。

MECENAT AWARDS 2001

受賞企業には、表彰状とトロフィーを贈呈します。



ラディカル・プラント
RADICAL PLANT

●
ブロンズ、黒御影石
37×18×12cm

トロフィー制作

鷺見和紀郎 (すみ・わきろう)

彫刻家。1950年、岐阜市生まれ。72年、Bゼミスクール修了後、彫刻家・三木富雄のアシスタントを経て、76年、ニューヨークに滞在。86～87年、日仏芸術家交流計画により在仏。99～2000年、文化庁特別派遣芸術家・在外研修員としてリヨンに滞在。個展・グループ展歴多数。

制作コンセプト ●メセナ大賞の意味を考えたとき、新しさの追求のみにとらわれないで、よりラディカル(根本的)で持続的な営みに対して光をあてることこそ、ふさわしいと思いました。ニューメディアとハイテクノロジーの時代といわれるいま、あえて伝統的な素材(ブロンズ)と古典的な主題で作品をつくってみました。主題は「水と花(水と生命の成長)」です。文化活動を成長する植物のイメージとすると、メセナ活動はまさしく水にたとえることができるでしょう。

※トロフィーの制作者は、セゾン現代美術館館長の難波英夫氏に協力いただき、指名コンペティションを実施して選びました。

ごあいさつ

「メセナ大賞2001」の受賞活動8つを決定いたしました。受賞される企業ならびに企業財団の皆さま、誠におめでとうございます。

本賞は、優れたメセナ活動により芸術文化の振興に高く貢献された企業・企業財団に対して、その功績をたたえ、活動の充実を祈念してお贈りするものです。本年も、全国から多数のメセナ活動をお寄せいただきました。ご応募ならびにご推薦をいただきました皆さまに厚く御礼を申し上げます。

91年の創設以来、毎年、さまざまなメセナ活動を顕彰しておりますが、その活動の多彩さには目を見張るものがあります。単なる資金援助にとどまらず、場の提供や人的サポート、地域に密着した独自の活動を進めておられる企業など、全国に広がるメセナの定着ぶりは心強いばかりです。今回ご応募いただいた活動の一つひとつが、わが国の芸術文化を取り巻く環境を豊かなものにしております。それぞれの代表者はもとより、実務をご担当されている方々の日頃のご努力もいかばかりかと存じます。こうしたなかから8つの活動を選ぶことは大変な作業であり、その労をいとわずにお務めいただきました審査委員の皆さまにも、心より御礼申し上げます。

今回受賞されます活動は、現在の芸術文化状況のなかで果たしてきた役割の大きさを特に評価しておりますが、今後の活動を展開されるにあたっては、各社とも企業メセナのリーダー的な役割を担っていただきたいと期待しております。

新世紀に入り、企業メセナ協議会も新しい一歩を踏み出しました。これまでのご協力に感謝申し上げますとともに、今後もなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社団法人 企業メセナ協議会
会長・理事長 福原義春

審査委員

池田逸子（いけだ・いつこ）

音楽評論家。ミュージック・ペンクラブ・ジャパン運営委員。岩波講座『日本の音楽・アジアの音楽』（共著）などを執筆するかたわら、既成の評価やジャンルにこだわらない自由な視点から「アサヒビール・ロビーコンサート」ほか多数のコンサートの企画や制作もおこなっている。

河合隼雄（かわい・はやお）

臨床心理学者。京都大学名誉教授。京都文教大学学術顧問。
日本におけるユング分析心理学の理解と実践に貢献し、『昔話と日本人の心』（82年）で大佛次郎賞、『明恵 夢を生きる』（88年）で新潮学芸賞を受賞。
その実践にもとづいた説得力ある論考は、従来の人間心理の解釈に新しい視点を開いている。

中沢けい（なかざわ・けい）

作家。『海を感じる時』（78年）で群像新人賞、『水平線上にて』（85年）で野間新人賞受賞。現代人の内面をとらえた文学作品を数多く発表するほか、評論、エッセイなど多数執筆。各誌で文芸時評、メディア時評も手がける。
最新作『月の桂』（2001年）は幅広い層から好評を得た。

富永壮彦（とみなが・たけひこ）

音楽評論家。58年、共同通信社入社、30年余にわたり文化部で音楽を担当し、93年に退社。以来、フリーの音楽ジャーナリストとして活動进行。
93～98年、昭和音楽大学にて音楽ジャーナリズム論と音楽評論概論の講座をもつ。
日本記者クラブ、東京音楽ペンクラブ会員。著書に『私の好きな演奏家』ほか。

ピーター・バラカン（ピーター・ばらかん）

ブロードキャスター。ロンドンに生まれ、74年以来、東京在住。
『CBSドキュメント』（TBS／日曜日深夜）ほか、多くのテレビ・ラジオ番組に出演している。
ジャンルや時代にとらわれない音楽ラジオ番組づくりに使命感をもち、その目標を進めるために理解のある企業を募集中。

平田オリザ（ひらた・おりざ）

劇作家・演出家。「劇団青年団」主宰。桜美林大学助教授。
現在、自身が所有、経営する「こまばアゴラ劇場」を拠点に演劇活動进行するほか、教育、言語、文芸などさまざまな分野で、批評や随筆を発表している。
95年に『東京ノート』で岸田國士戯曲賞受賞。

福田美蘭（ふくだ・みらん）

画家。第32回安井賞（89年）、第7回インドトリエンナーレ金賞（91年）など数々の賞を受賞。99年には国立国際美術館にて個展「福田美蘭展」を開催するなど、もっとも注目を集めている気鋭の美術家である。
作品集に『福田美蘭 PICTURESQUE 1992-1998』（98年）がある。

本江邦夫（もとえ・くにお）

多摩美術大学美術学部教授・府中市美術館館長。
76年より東京国立近代美術館に勤め、企画・資料課長、美術課長を経て98年に退職。
19世紀末から現代にかけての美術を中心に、芸術全般について幅広く深い視座からの評論活動を展開している。著書に『絵画の行方』など。

福原義春（ふくはら・よしはる）

（株）資生堂名誉会長。（社）企業メセナ協議会会長・理事長。
企業の社会貢献、文化へのパトロネージュなどにも関心が高い。
『企業は文化のパトロンとなり得るか』（90年）。『文化資本の経営』（99年）。『メセナの動き メセナの心』（2000年）など多数の著書を出している。

（50音順）

選考経過

「メセナ大賞2001」は、本年3月初旬より募集を開始し、5月31日で応募を締め切りました。今回は案件を募集するにあたり、自らの活動を応募いただく自薦方法とあわせて、各地の自治体や新聞社、芸術関係者の方々に呼びかけて、優れたメセナ活動をおこなっている企業や企業財団を推薦いただく方法を探りました。それにより、22件の推薦を含む計98件（82団体）のご応募をいただくことができました。これら全応募案件について、協議会会員の担当者からなる大賞部会で約4ヶ月にわたる調査・取材をおこない、9月末の審査会に諮りました。

審査委員は3年間の任期でお願いしており、本年は2年目にあたりましたが、指揮者の岩城宏之氏に代わって本年より音楽評論家の富永壮彦氏に審査をお引き受けいただきました。受賞活動を8件選び、そのなかから大賞を選出、残る7件は特に評価された点を賞の名称に反映させて冠するという方法は昨年と同様です。

評価ポイントは各受賞活動の紹介のなかで言及していますが、審議のなかで浮上してきたのは、企業が文化活動にどのように関与することが「メセナ」としてより望ましいのか、という論点でした。たとえば、美術館連絡協議会の活動に対して、会の自主性を重んじるという立場から資金面での援助を続けている花王のようなケースもあれば、自社ビルに人形劇場を設け、地元のNPOと二人三脚で運営にあたっている安田火災のような関わり方もあります。芸術文化活動の専門性は尊重しながらも、運営面でのサポートはむしろ企業のもてる場や人といった資源を活かしていくべきとの意見が出され、これからの企業メセナのあり方に示唆に富む活動として、安田火災に大賞が贈賞されました。

また、本年より新たに、協議会のニュースレター『メセナノート』にちなんで「メセナノート読者賞」を設けました。これは、日頃からメセナに関心をお持ちのメセナノートの読者の方々に、審査会で選ばれた8つの活動のなかから最も好ましいと思われる活動に投票していただくもので、その結果は贈呈式当日に発表いたします。

今回、惜しくも選外となった応募案件のなかにも注目される活動が多くあり、今後のさらなる展開に大いに期待したいと思います。

社団法人 企業メセナ協議会
大賞部会

メセナ大賞2001 受賞活動

- | | | |
|---------|--|-----|
| メセナ大賞 |  安田火災海上保険株式会社 | p06 |
| | 安田火災人形劇場「ひまわりホール」の活動 | |
| 国際交流賞 |  財団法人 アサヒビール芸術文化財団 | p08 |
| | 芸術系外国人留学生への支援・交流活動 | |
| 企業文化賞 |  株式会社 INAX | p10 |
| | 「世界のタイル博物館」等の運営ならびに
陶芸作家への支援 | |
| 人材育成賞 |  花王株式会社 | p12 |
| | 美術館連絡協議会への支援 | |
| アイデア賞 |  カスミグループ | p14 |
| | 「くわたしの企画」応援します!」の実施 | |
| 地域文化賞 |  株式会社 駒形どぜう | p16 |
| | 「江戸文化道場」等の開催 | |
| バリアフリー賞 |  トヨタ自動車株式会社 | p18 |
| | 「トヨタ・エイブルアート・フォーラム」の実施 | |
| まちづくり賞 |  社団法人 浜松青年会議所 | p20 |
| | 浜松交響楽団の設立と運営 | |



安田火災海上保険株式会社

安田火災人形劇場「ひまわりホール」の活動

89年、安田火災が中部地方の拠点として名古屋に新社屋を建設するにあたり、地元の意見を取り入れたのが「ひまわりホール」開設のきっかけである。もともと中部地方では人形劇が盛んで、愛知県内だけでも120団体を越える人形劇団がありながら、なごらく専用ホールがなかった。そこで安田火災では、同ビルの最上階に人形劇場「ひまわりホール」を開設する。全国的にも人形劇の専用ホールは7～8つしかなく、それらは公立か劇団が所有するもので、企業による人形劇場の開設は同ホールが初めて、かつ唯一のものである。

さらに、単なる貸しホールを設けただけでは本来的な人形劇の普及・発展にはつながらないであろうとの考えから、ホールの運営をNPO・愛知人形劇センターに委ね、この事務局を務める専任の職員を中部総務管理部内に配した。加えて、センターの年間活動費に対しても協賛をおこなっている。

愛知人形劇センターは、地元の人形劇団関係者をはじめ東海地方のプロ・アマの人形劇団約150団体によって構成されており、

以降、ひまわりホールを拠点として、継続的な活動を展開することになる。具体的には、①人形劇公演やワークショップの企画・制作、②人形劇情報誌・月刊『あっぱ』の発行、③プロによる「養成講座」の開設、④「脚本賞」の公募と入選作品の上演、⑤福祉施設への出前公演「パペットキャラバン」の実施などである。

116人収容の可動式ホールは人形劇公演には最適な規模であるとともに、休日も含め毎日使用できるため、練習や会議などもあわせると年間の稼働率は300日を越える。また、毎年秋には「パペット・フェスティバル」という3日間連続のイベントをおこなっており、2000年度は延べ2,000人以上の親子が人形劇を楽しんだ。この催しにも、毎年、100名近い社員がボランティアとして参加し、受付や会場整理などのスタッフをつとめている。



評価ポイント まず人があってハコがある。地域に望まれることを還元している。 自社ビルの提供や運営面での人的サポート、NPOとの連携など、これからのメセナのあり方 にとって示唆に富む。

企業プロフィール (2001年3月現在)

本社所在地	東京都	資本金	584億2,100万円
業種	保険業	従業員数	11,106人
創立年	1944年 [創業1888年]	URL	www.yasuda.co.jp/



財団法人 アサヒビール芸術文化財団

芸術系外国人留学生への支援・交流活動

アサヒビール芸術文化財団は、89年、アサヒビール創業100周年を記念して設立された。音楽と美術を中心とした助成事業をおこない、94年からは日本で芸術を学ぶ外国人留学生を対象とした活動に取り組んでいる。

①外国人留学生へのスカラーシップの支給：日本の大学院に在籍し、美術や音楽を専攻する留学生に対して、年額120万円のスカラーシップを支給する。毎年70名前後の応募があるなかから15名程度を選出、これまでに延べ102名の大学院生・研究生を助成してきた。特に中国や韓国からの留学生が多く、2000年度は69名の応募者のなかから14名が選ばれた。

②外国人留学生美術展の隔年開催：留学生を対象とした公募展。日本画、洋画、版画、彫刻、工芸の5部門で募集し、毎回、140～150件の応募があるなかから入選作品約40点を選んで展覧会をおこなう。第4回となった2000年度は「来てみれば Japan 2000」と題して、アサヒビール本社隣の墨田区のギャラリーで開催した。

なかでも優れた出品作を表彰して、奨学金を贈呈している。

③外国人留学生音楽会の隔年開催:美術展と交互に2年に1回開催。声楽、西洋楽器、民族楽器の部門ごとに出演者を募り、オーディションによって決定する。音楽を学ぶ留学生だけでなく、個人的に師事している人も応募できる。アサヒビール本社ロビーでコンサートを開催するほか、賞の表彰と奨学金が与えられる。

さらに、各地のビール工場見学や大山崎山荘美術館への招待などの催しをおこない、奨学生と財団、留学生相互のコミュニケーションを深めている。また、ニュースレター『Harmony』を季刊で発行するほか毎年「奨学生名簿」を発行し、定期的な情報の収集と発信に努めている。



評価ポイント 日本で学ぶ留学生を応援する取り組みが他にあまりなく、有意義な活動である。展覧会の実施なども留学生にはいい刺激になる。

企業プロフィール (2000年12月現在)		※[]内はアサヒビール本社のデータ	
財団所在地	東京都	基本財産	5億5,000万円 [1,776億6,500万円]
業種	食品	職員数	2人 [4,103人]
創立年	1989年 [1949年]	URL	www.asahibeer.co.jp/culture/



株式会社 INAX

「世界のタイル博物館」等の運営ならびに陶芸作家への支援

INAXは86年、起業の地である愛知県常滑市に「窯のある広場・資料館」を開設。1階では大正から第二次世界大戦にいたるまでの約20年間、都会のビルの外観を飾ったテラコッタの数々を展示。2階には、明治以降に普及した陶磁製の染付古便器を展示している。

この資料館に隣接して、97年には「世界のタイル博物館」を開館。タイル研究家であった故・山本正之氏が50余年にわたり収集してきた世界各地のタイル約6,000点を収蔵している。同コレクションは、山本氏が91年に常滑市に寄贈したもので、INAXは市からの委託を受けてこれを管理・研究し、公開すべくタイル博物館を建てた。館内は、オリエント、イスラム、スペイン、オランダ、イギリス、中国、日本の各展示室とTECHNICAL GALLERYにわかれ、山本コレクションを常設展示するとともに、紀元前からのタイルの歴史や文化的背景、製法などについて紹介している。また、年1回の特別展を開催するほか、企画展示室においては「やきもの新感覚シリーズ」として、年9回、気鋭のやきもの作家の個展を開催している。

INAXでは、このふたつの施設が建つエリアを「文化スクエア」として、来訪者がタイルの絵付けや陶芸などを気軽に体験できるよう、「陶楽工房」というスペースも併設している。さらに、やきものやタイルなどに実験的な取り組みをしている日本人アーティストを招いて滞在制作してもらった「INAX未来陶房プロジェクト」を99年から開始。やきもののまち・常滑で、新たな創作と発表の場を提供する試みである。

一方、94年には、新宿ショールーム内に「ガレリアセラミカ新宿」を開設。若手陶芸家の企画展を1ヶ月ごとに開催し、これまでに70人を越えるアーティストを紹介してきた。99年には、札幌ショールームにも「ガレリアセラミカ札幌」を設け、新宿からの巡回展をおこなっている。



評価ポイント 窯業を営む企業ならではの活動を、多角的に展開している。「世界のタイル博物館」がユニーク、余所にはない施設である。

企業プロフィール（2001年10月現在）

本社所在地	愛知県常滑市	資本金	484億6,800万円
業種	窯業・住宅設備機器	従業員数	5,800人
創立年	1924年	URL	www.inax.co.jp/



「イギリス・フランス近代名画展」奈良県立美術館

花王株式会社

美術館連絡協議会への支援

美術館連絡協議会は、全国の公立美術館のゆるやかな連携による組織として、82年、36館でスタートした。現在では105館が加盟する。各地の美術館が相互の協力によって活性化することを目的に、共同開催による美術展を巡回するとともに、学芸員の育成に努めることを活動の柱としている。

公立美術館が相次いで設立された80年代初め、「ハード先行、ソフト不在」との厳しい指摘があるなかで、故・河北倫明氏が「地方の美術館を含めた文化交流が必要」と組織の発足を提案。これに当時の花王社長と読売新聞社社長が賛同した。美術館連絡協議会の事務局は読売新聞社が務め、企画立案や実務面でのサポートをおこない、花王は、美術館連絡協議会の活動全般に対して資金面でのバックアップを続けてきた。これまでの19年間にわたって、総額20億6,000万円あまりを協賛している。美術館連絡協議会のおもな活動内容は以下のとおり。

- ①巡回美術展(83年～):複数の美術館が協力して、単館では

なかなか実現できない規模の大きな美術展をおこなう。これまでに延べ284件の展覧会を1,905会場で実施。入場者は総計1,570万人にのぼる。

②学芸員の海外研修派遣(83年～):諸外国の美術館との相互理解や協力関係を促進するために、加盟美術館の学芸員に海外研修の機会を与える。これまでに86名を派遣。

③花王・学芸員研究助成(89年～):加盟美術館の学芸員から研究テーマを募集し、審査の後、毎年7～8件、1件あたり50万円を助成。2000年度までに計81件のさまざまな研究の助成をおこなった。

④美術館連絡協議会図録奨励賞(98年～):1年間に発行された展覧会図録を対象に、優秀な論文や解説などを顕彰する。巡回展部門と自主展部門にわけて、2000年度までに巡回展部門7件、自主展部門4件、計11件を顕彰している。



評価ポイント 展覧会への協賛だけでなく、美術館の運営に欠かせない学芸員の育成に力を注いできた点を大いに評価したい。

企業プロフィール(2001年3月現在)

本社所在地	東京都	資本金	854億円
業種	化学	従業員数	5,747人
創立年	1940年[創業1887年]	URL	www.kao.co.jp/comp/

アイデア賞



カスミグループ

「くわたしの企画」応援します!」の実施

茨城県を中心に北関東で約100店舗のスーパーマーケットを展開するカスミは、92年、つくば市に新社屋を建設し、本部機能に移した。その社屋を地域の共有財産として開放すべく、93年より取り組んでいるのが「くわたしの企画」応援します!」である。個人ではなかなかできない「夢の企画」を実現させるために場を提供し、活動資金の支援と人的サポートをおこなっている。

毎年40件ほどの応募が寄せられるなかから、作家や地元医師らによる審査会で5件前後の企画を選び、年の後半に毎月1回のペースで実施。これまでに47件のくわたしの企画」が実現した。2000年度におこなわれたくわたしの企画」は以下の4つ。

①「古典舞踏をお茶の間へ」：一般から受講者を募って古典舞踏の講座を開催。古楽器の生演奏による舞踏会が催され、参加者はドレスなどを身にまとい、優雅なひとときを過ごした。

②「折り紙ワールドin つくば」：国内外200名以上の折り紙創作家、愛好家が作品を出展。会場では折り紙の体験教室も開催さ

れた。企画者はその後、折り紙の本の出版や講師をつとめるなど、活動の場を広げている。

③「明治・縞復元展」：明治30年に新治郡九重村（現・つくば市）でつくられた中根定助著案『縞割早見』という縞帳をもとに、当時の意匠を復元、糸から草木染めした手織りの反物が展示された。会場では、機織りや紅花染体験もおこなわれた。

④「マリオネットワークショップ2000」：小学生から大人まで23名からなるマリオネット劇団を結成し、山形県の「えほん村人形劇団」を訪れて人形や舞台を制作。その成果として「クリスマス公演ブレーメンの音楽隊」をカスミ本社で上演した。

これら企画のすべてに対し、カスミグループの社員が事前の準備段階から参加。企画者とともに「夢を夢で終わらせない」ためのさまざまな工夫を凝らしている。



評価ポイント プロに対する支援はよくあるが、誰にでもあるクリエイティビティを応援するという姿勢に好感がもてる。発想が面白い。

企業プロフィール（[株]カスミのデータ 2001年8月末現在）

本社所在地	茨城県つくば市	資本金	123億円2,206万円
業種	小売業	従業員数	6,783人
創立年	1961年	URL	www.kasumi.co.jp/



株式会社駒形どぜう

「江戸文化道場」等の開催

「駒形どぜう」は1801年の創業以来、どぜうの専門店として、浅草・駒形橋の近くに店舗を構えてきた。2001年でちょうど創業200年を迎える。「江戸文化道場」は、200周年の節目に100回目を迎えらるよう、1986年にスタート。江戸の食文化をはじめ、芸能や工芸、文化論の専門家を隔月に招いて、楽しく江戸を学ぶ講座をおこなっている。

これまでに開催した100回の道場のうち、2回以上出演している講師は5人のみ。できるだけ多彩な切り口から江戸文化に迫れるよう、常に新たな企画を検討している。また、どぜう料理が本物を追求しているので、道場でも本物志向の内容を心掛け、芸能であれば実演を、工芸であれば実物を見せるようにしている。2000年の「江戸文化道場」の内容は、アダム・カバット「江戸の不思議な化け物たち」、井上喜夫「江戸指物」、小野里元栄・丸謙次郎「太鼓と笛の競演」、越川禮子「江戸しぐさ」など。

会場には本店地階の店舗スペースを使っており、「江戸文化道

場」の際にはテーブルをかたづけて100名ほどの観客が入れるように椅子を並べる。あくまで江戸の遊び感覚を忘れず、お客には「通行手形」を発行し、年6回すべて聴講すると「皆勤賞」として賞状と記念品を授与。さらに、1年通うと初段、2年通うと二段というように連続参加者を有段者として表彰、10年間皆勤を続けると「免許皆伝」を与えるなどの趣向をこらしている。「どぜう屋の道場」（「道場」も「どぜう」と通じる）として定着し、地域住民をはじめ多くの江戸ファンを惹きつけている。

本店のほか、渋谷店においても「どぜう寄席」を2ヶ月に1回、「どぜうサロン」を年4回開催し、こちらも常連客を集めている。また、これら催しの様子をまとめた小冊子『どぜう往来』を年2回発行するなど、「江戸文化道場」を中心として活動の広がりを見せている。



評価ポイント 江戸文化を多角的にとらえ、毎回異なる講師を招くという企画力がすごい。ファンを定着させるユニークな仕掛けがよい。

企業プロフィール（2001年10月現在）

本社所在地	東京都	資本金	2,000万円
業種	サービス業	従業員数	48人
創立年	1801年	URL	www.dozeu.co.jp/



トヨタ自動車株式会社

「トヨタ・エイブルアート・フォーラム」の実施

「エイブル・アート (ABLE ART)」とは「可能性の芸術」を意味する造語である。障害のある人たちの芸術活動を支え、その価値を伝え、新しい芸術の可能性を追求していく活動の総称として、エイブル・アート・ジャパン (旧・日本障害者芸術文化協会) により提唱された。トヨタ自動車では96年から、エイブル・アート・ジャパンとのパートナーシップにより「トヨタ・エイブルアート・フォーラム」を各地で開催。これまでに30地域で49回のフォーラムを実施している。その特徴は、2年続けて同じ地域でシンポジウムとワークショップをおこなうことと、実際の運営を地元の実行委員会の自主性に委ねているという点にある。

①シンポジウム: 障害のある人たちの芸術活動への理解を促すことを目的として開催。活動を指導している美術家や学芸員等によるプレゼンテーションと、エイブル・アートの意義や課題について討論するパネルディスカッションからなる。②ワークショップ: 活動を定着させるため、シンポジウムの翌年に同じ地域で開催。創作

活動や展示を含むワークショップと、作品を社会のさまざまな場に紹介していくうえで必要なノウハウを学ぶ講座からなる。

地域に根差した活動とするために、各地で福祉やアート関係者を中心とした実行委員会を組織。企業とNPOと地域住民の3者が一体となり、効率的かつ効果的な運営をめざしている。さらに、同フォーラムを契機として実行委員会による自主活動がおこなわれる際にも、助言や資金援助等をおこなうなど、事後のフォローも手厚い。フォーラム参加者は福祉関係者のみならず、アート関係者や美大の学生なども多い。

トヨタでは、こうした活動が正しく認知され評価されることが、文化におけるバリアフリー社会の実現に向けて重要であると考え、マスメディアへの働きかけや欧米における類似活動の調査・紹介にも努めている。



評価ポイント 地域の福祉施設やNPOとうまく連携して活動を展開している。講座とワークショップを二重でおこない、アフターフォローもしている点がよい。

企業プロフィール (2001年11月現在)

本社所在地	愛知県豊田市	資本金	3,970億円
業種	自動車製造業	従業員数	66,000人
創立年	1937年	URL	www.toyota.co.jp/mecenat/

まちづくり賞



第48回浜響定期演奏会

社団法人 浜松青年会議所

浜松交響楽団の設立と運営

浜松青年会議所は、同市所在の企業215社の若手経営者らによって構成される。1951年に設立。まちの発展のためのさまざまな活動に取り組んでおり、とりわけ市民オーケストラ「浜松交響楽団」の設立とその運営支援は、重要な位置を占める。

76年、日本青年会議所の第25回全国大会が浜松で開催された際に、「楽器のまちから音楽のまちへ」のスローガンを掲げて浜松交響楽団の設立を提唱。100余名の団員を公募するとともに、1,680あまりの法人・個人からの寄付を募り、約1億円の基金をもって財団法人を設立した。さらに財団設立後も毎年200万円の援助を続けており、この資金は楽器や楽譜の購入をはじめ、日々の運営費として充てられている。また、浜松交響楽団に事務所を提供し、楽団が音楽活動に集中できるよう、練習会場の手配から、定期演奏会のチケット販売や会場整理などの裏方も務めている。

浜松交響楽団は、常にフルオーケストラ編成で演奏できるよう100名前後の団員で構成されている。団員は、高校生から社会人

まで年齢層も幅広く、これまでの入団者数は約500名にのぼる。おもな活動は、①年2回の定期演奏会、②市制記念日の演奏会、③市民オペラの演奏、④移動オーケストラ教室だが、演奏会の際には著名な指揮者や独奏者を招いて新曲に挑戦するなど、レベルの向上に努めている。また、楽団有志による小中学校への出前コンサートもおこなっており、地域の音楽ファンの拡大と鑑賞者育成をはかっている。

浜松交響楽団創立10周年の際には、音楽ホールの開設および国際音楽コンクールの開催を市に提言。これがかなって、91年からは「浜松国際ピアノコンクール」がスタート、94年には浜松駅前に1,800席のアクティシティ・ホールが開設された。長年にわたり楽団を支えてきた青年会議所が「音楽のまち・浜松」の推進に果たした役割は大きい。



評価ポイント 地元企業が一丸となって市民オーケストラを支えている。地域に密着した息の長い活動である。

団体プロフィール（2001年7月現在）

本社所在地	静岡県浜松市	会員数	215社
業種	社団法人	URL	www.hamamatsujc.ens.ne.jp/
創立年	1951年		

メセナ大賞2001 応募一覧

(財)愛銀教育文化財団 教育・文化活動に対する助成ならびに援助活動	愛知県
朝日生命保険(相) 「新都心プロムナードギャラリー」の運営	東京都
アサヒビール(株) 「アサヒビール音楽講座」の実施	東京都
(財)アサヒビール芸術文化財団 芸術系外国人留学生への支援・交流活動	東京都
(財)尼信地域振興財団 アルカイックオペラの支援	兵庫県
(株)イトーヨーカ堂 小さな童話大賞の実施	東京都
(株)INAX 「世界のタイル博物館」等の運営ならびに陶芸作家への支援	愛知県
NECソフト(株) 武生国際音楽祭への助成	東京都
大関(株) ザイラーピアノデュオ「大関座布団コンサート」	兵庫県
花王(株) 美術館連絡協議会への支援	東京都
カスミグループ 「くわたしの企画」応援します!」の実施 ほか1件	茨城県
カルビー(株) プロフェッショナル・ダンスセンター「ヒロシマレクイエム」への協賛	東京都
九州電力(株) 民俗芸能ライブラリーの制作 ほか1件	福岡県
麒麟ビール(株) 現代舞踊を中心とした舞台芸術の継続的支援	東京都
近畿労働金庫 エイブル・アート近畿2000の実施	大阪府
(株)熊平製作所 エッセイ集「抜萃のつづり」の発刊・無料配布	広島県
(財)芸術文化振興会 「藤原新也 旅の軌跡」展の開催支援	長野県
(株)けいはんな及び協賛企業・団体各社 けいはんなプラザ・ブチコンサートの開催	京都府
(株)駒形どぜう 「江戸文化道場」等の開催	東京都

(株) コミヤマ工業 山梨・まち見物誌『ランデブー』の発刊	山梨県
三洋電機(株) 美術団体「白日会」への支援活動	大阪府
(株) シアター・ドラマシティ 劇場運営を通じての演劇文化の育成活動	大阪府
(株) ジェイティービー 「社の賑い」の開催	東京都
(株) 商船三井 ふじ丸ギャラリーの開設と運営	東京都
真生印刷(株) 花と緑で世界を結ぶ児童・生徒絵画コンクールの実施	大阪府
(財) 新日鐵文化財団 紀尾井ホールにおける音楽文化の振興および支援	東京都
住友海上火災保険(株) しらかわホールの活動	愛知県
(株) 住友金属小倉 スミックスホール ESTAの運営	福岡県
住友生命保険(相) 「こども絵画コンクール」の実施 ほか1件	大阪府
セキ(株) セキ美術館の開設と運営	愛媛県
ソニーグループ 若い音楽家・音楽愛好家の発掘・育成	東京都
第一製薬(株) 水戸室内管弦楽団の欧州公演	東京都
(株) 第一ホーム 二人の美術館の特別企画展の実施	島根県
(株) ダイエー シーウインドウ横須賀音楽祭への支援	東京都
高松建設(株) タカマツランチタイムミニコンサートの開催	大阪府
(株) 千葉銀行 第18回ちばぎんひまわりコンサートの開催	千葉県
(株) 千葉興業銀行 JR千葉駅コスモスコンサートの開催	千葉県
(株) ティアンドケイテレフィルム バリアフリー映画の製作と普及活動	東京都

TOA(株) 小中学生のための世界の民族楽器の紹介 ほか1件	兵庫県
田苑栗源酒造(株) 田苑酒蔵サロンコンサートの企画運営	鹿児島県
東京オペニオンズ 東京オペニオンズ・フェスティバルの実施	東京都
(財)東京オペラシティ文化財団 東京オペラシティにおける芸術文化活動	東京都
東京ガス(株) 「土と炎のワンダーランド」第34回小・中学生陶芸コンクールの実施	東京都
東京ガス都市開発(株) 新宿パークタワー「ギャラリー1」の運営 ほか1件	東京都
(財)東洋信託文化財団 芸術文化活動に対する資金援助	東京都
東陶機器(株) ギャラリー・間の活動	東京都
東濃信用金庫 美濃陶芸作品永年保存事業の実施	岐阜県
凸版印刷(株) 印刷博物館の開設と運営 ほか1件	東京都
(株)トナカイ 若手アーティストの育成とオペラファンの拡大	東京都
トヨタ自動車(株) 「トヨタ・エイブルアート・フォーラム」の実施 ほか3件	東京都
(財)中信美術奨励基金 「京都美術文化賞」を中心とした活動	京都府
ニッセイ同和損害保険(株) フェニックスエヴォリューションシリーズの実施 ほか1件	大阪府
日本たばこ産業(株) JTアートホールアフィニスの完全自主企画運営	東京都
(財)日本テレビ放送網文化事業団 「国連:新しい世紀 こどもの願い」展の開催	東京都
日本電気(株) ボストン交響楽団欧州ツアーへの支援 ほか2件	東京都
日本文教出版(株) ミュージアム・マガジン「ドーム」刊行による芸術教育活動	大阪府
ネスレ ジャパン グループ キーロフオペラ ゲネプロ無料招待	兵庫県

(社) 浜松青年会議所 浜松交響楽団の設立と運営	静岡県
平塚ステーションビル(株) ラスカ・チャリティコンサートの開催	神奈川県
(財) ひろしん文化財団 日本画展の開催	広島県
(株) 福田組 環境と都市の美術展の実施	新潟県
(株) フジカワ画廊 美術館などの公的展覧会への協力	大阪府
(有) 藤屋旅館 藤屋旅館における講演、コンサートなどの企画運営	長野県
(株) 平和 HEIWAクラシックコンサート「東京オペラシティ・シリーズ2000～2001」の開催	群馬県
(株) 本高砂屋、トーラク(株)、(株) ドンク、モロゾフ(株) 「サンセット・サロン」の企画運営	兵庫県
松下電器産業(株) 童謡の芸術「フィーリング・アーツ」の社会普及支援 ほかに2件	大阪府
松下電器産業(株)、アサヒビール(株)、(株) 資生堂、日産自動車(株)、日本マクドナルド(株) ドキュメント2000プロジェクトの活動	大阪府
まつもとコーポレーション デビットホールの運営	岡山県
三国コカ・コーラボトリング(株) さわやかコンサートへの支援	埼玉県
(財) 三井海上文化財団 文化の国際交流活動に対する助成	東京都
三越(株) 三越劇場の開設と運営 ほかに3件	東京都
三菱地所(株) 三菱地所のSHALL WE オーケストリオ・チューリップ演奏会2000の開催	東京都
(株) メニコン メニコンスーパーコンサートの開催	愛知県
安田火災海上保険(株) 安田火災人形劇場「ひまわりホール」の活動 ほかに3件	東京都
ヤマト運輸(株) 「音楽宅急便」の実施	東京都
ヤマハ(株) 2000年度「日本吹奏楽指導者クリニック」への支援	東京都
(株) リクルート ガーディアン・ガーデンの運営 ほかに1件	東京都

これまでの受賞企業

2000

- | | |
|-------|--|
| メセナ大賞 |  第一生命保険(相)
VOCA展の開催 |
| 育成賞 |  (財)アフィニス文化財団
日本のプロオーケストラへの支援活動 |
| 新人育成賞 |  沖縄電力(株)
おきてんシュガーホール新人演奏会オーディションの実施 |
| 創造賞 |  キヤノン(株)
キヤノン写真新世紀の実施 |
| 地域賞 |  (株)神戸酒心館
神戸酒心館ホールの運営 |
| 組織支援賞 |  三洋電機(株)
大阪シンフォニカーへの支援活動 |
| 企業理念賞 |  日産自動車(株)
“子どもの想像力育成”に投資するメセナ活動 |
| 振興賞 |  日本電気(株)
NEC EARLY MUSIC SERIESの実施 |

1999

- | | |
|--------|--|
| メセナ大賞 |  (株)東急文化村
複合文化施設Bunkamuraの運営 |
| メセナ育成賞 |  野村證券(株)、松下電器産業(株)、日本航空(株)、トヨタ自動車(株)
パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)への協賛 |
| メセナ企画賞 |  フィリップ モリス(株)
フィリップ モリス アート アワードの実施 |
| メセナ国際賞 |  安田火災海上保険(株)
ゴッホ美術館新館の建築支援 |
| メセナ奨励賞 |  今井書店グループ
読書と出版文化発展のための支援活動 |
| メセナ地域賞 |  住友生命保険(相)
いずみホールの運営 |
| メセナ普及賞 |  カルビー(株)ほか後援会加盟社
能楽研究・公演団体「橋の会」の支援 |

1998

- | | |
|--------|---|
| メセナ大賞 |  朝倉不動産(株)
代官山ヒルサイドテラスにおける文化活動 |
| メセナ育成賞 |  大川創業(株)
関西フィルハーモニー管弦楽団への支援活動 |
| メセナ企画賞 |  九州電力(株)
若手工芸家の国内外派遣制度 |
| メセナ国際賞 |  (株)ベネッセコーポレーション
直島文化村ベネッセハウスの運営 |
| メセナ奨励賞 |  (株)両国シティコア
シアターXの運営 |
| メセナ地域賞 |  (財)たましん地域文化財団
多摩地域における文化活動 |
| メセナ普及賞 |  麒麟ビール(株)
麒麟プラザ大阪の運営 |

1997

- メセナ大賞  **主婦の友グループ**
カザルスホールの運営
- メセナ育成賞  **東京ガス都市開発(株)**
パークタワー・アートプログラム ダンスシリーズの実施
- メセナ企画賞  **松下電器産業(株)**
阪神アートプロジェクトへの支援
- メセナ国際賞  **在日ダイムラー・ベンツグループ**
タイムラー・ベンツグループ アートスコープ ガスコー・エッシャー・ニース・アート・スカラーシップの実施
- メセナ奨励賞  **(株) ローザ**
斎藤記念川口現代美術館の運営
- メセナ地域賞  **(株) みちのく銀行**
ドキュメンタリー映画「サワダ SAWADA」の制作
- メセナ普及賞  **六花亭製菓(株)**
十勝に根ざした芸術文化活動

1996

- メセナ大賞  **アサヒビール(株)**
ロビーコンサートを中心とする社会に開かれた未来文化創造型メセナ活動
- 審査委員特別賞  **キャノン(株)**
「アートラボ」の企画・運営
- メセナ育成賞  **(株) 毎日新聞社**
「第64回日本音楽コンクール」(主催 毎日新聞社・日本放送協会)の開催と長年にわたる同コンクールの運営
- メセナ企画賞  **(株) ヨークベニマル**
絶版になった地域歴史書の復刻・発刊事業
- メセナ国際賞  **凸版印刷(株)**
「欧米のポスター100」復刻事業
- メセナ奨励賞  **(株) 海文堂書店**
「アート・エイト・神戸(阪神大震災文化復興)」の実施
- メセナ地域賞  **(財) 八十二文化財団**
心の豊かさを求めて～八十二文化財団10年のあゆみ～
- メセナ普及賞  **大日本印刷(株)**
「ギンザ・グラフィック・ギャラリー」10周年企画の実施

1995

- メセナ大賞  **TOA(株)**
ジューベックホールを中心として行っている音文化啓蒙活動
- 審査委員特別賞  **(財) 京都服飾文化研究財団**
「モードのジャポニズム～キモノから生まれたゆとりの美～」展の開催など
- メセナ育成賞  **(株) バルコ**
「URBANART(アーバナート)」の開催
- メセナ企画賞  **三菱広報委員会**
国際漢字年記念 三菱IMPRESSION-GALLERY～アジア子供アート・フェスティバル～の実施
- メセナ国際賞  **(財) 大同生命国際文化基金**
「アジアの現代文芸」プログラムの翻訳出版
- メセナ奨励賞  **広島信用金庫**
「ひろしま平和音楽祭」「青少年のための能楽鑑賞教室」の開催
- メセナ地域賞  **稚内信用金庫**
稚内市での札幌交響楽団定期公演の全面的支援など
- メセナ普及賞  **(財) 三井海上文化財団**
地域住民のためのコンサートの共同主催

これまでの受賞企業

1994

- メセナ大賞  サントリー（株）
サントリーホールの運営と活動
- 審査委員特別賞  （株）タダノ
イースター島モアイ像修復活動
- メセナ育成賞  （株）東急文化村
シアターコクーン戯曲賞の運営
- メセナ企画賞  三和酒類（株）
美術・文学・建築等を含む文化学研究・出版活動
- メセナ国際賞  （財）日航財団
世界こどもハイク（俳句）コンテストの運営
- メセナ奨励賞  （株）あさば旅館涵翠閣
「修善寺芸術紀行」の実施
- メセナ地域賞  カトーレック（株）
四国民家博物館の運営
- メセナ普及賞  （財）日本生命財団
「博物館総合案内」書の出版

1993

- メセナ大賞  セゾングループ
セゾン美術館の運営
- メセナ特別賞  （財）トヨタ財団
「隣人をよく知ろう」プログラムの実施
-  フィリップ モリス 株
日本美術修復計画への支援
-  （株）南日本放送
MBCユースオーケストラの運営
- メセナ賞  大阪ガスグループ
扇町ミュージアムスクエアの運営
-  （財）東芝国際交流財団
国内外の美術館、博物館などへの助成
-  日本生命保険相互会社
30年にわたるニッセイ名作劇場の協賛と日生劇場の運営
-  松下電器産業（株）
グローブ座への支援
-  （財）ローム ミュージック ファンデーション
音楽文化振興活動

1992

- メセナ大賞  **(株)すかいらく**
(財)東京交響楽団の演奏活動支援
- メセナ特別賞  **(財)末永文化振興財団**
末永文化センターの運営
-  **びあ(株)**
PFF'91(びあフィルムフェスティバル)の開催
-  **(財)ポーラ伝統文化振興財団**
わが国の伝統文化の保存、伝承、普及、振興に関するメセナ活動
- メセナ賞  **(株)紀伊國屋書店**
紀伊國屋ホールの運営
-  **シャチハタグループ**
ジャパン・アート・スカラシップの協賛
-  **セゾングループ**
MUSIC TODAY '91の開催
-  **日本アイ・ビー・エム(株)**
IBMウェルフェア・コンサートの開催
-  **(株)紅三**
ベニサン・スタジオ、ベニサン・ピットの運営

1991

- メセナ大賞  **林原グループ**
国際芸術・文化振興奨学金制度の創設ほか
- メセナ特別賞  **(株)INAX**
建築、現代美術等の展覧会開催、出版ほか
-  **コニカ(株)**
大英博物館日本ギャラリーの設立資金援助ほか
-  **新日本製鐵(株)**
35年にわたる新日鉄コンサートの開催、音楽賞の創設
- メセナ賞  **岩谷産業(株)**
ふるさと交響楽シリーズなどのN響への協賛
-  **オムロン(株)**
クレアティヴィタリアの特別協賛ほか
-  **セイコーエプソン(株)**
サイトウ・キネン・オーケストラの欧州公演協賛
-  **トヨタ自動車(株)**
アマチュアオーケストラの支援活動
-  **モービル石油(株)**
モービル・ライブ・サウンズの提供

(社)企業メセナ協議会会員

正会員

アート・アソシエイツ ジャパン(有)
 (株)I&S/BBDO
 あいおい損害保険(株)
 (株)秋村組
 朝倉不動産(株)
 (株)アサツー ディ・ケイ
 (株)朝日広告社
 (株)朝日新聞社
 朝日生命保険(相)
 アサヒビール(株)
 朝日放送(株)
 (株)アシェット婦人画報社
 味の素(株)
 イオン(株)
 一帆会・昭和電工グループ
 (株)イトーヨーカ堂
 (株)INAX
 (株)エイ・アイ・エイ
 (株)エフエム東京
 エルメス・ジャパン(株)
 王子製紙(株)
 大阪ガス(株)
 オムロン(株)
 (株)オンワード樫山
 花王(株)
 鹿島建設(株)
 (株)カスミ
 カトーレック(株)
 カネボウ(株)
 関西電力(株)
 キックマン(株)
 キヤノン(株)
 九州電力(株)
 (株)求龍堂
 京セラ(株)
 キリンビール(株)
 (株)クレディセゾン
 (株)現代彫刻センター
 (株)講談社
 (株)光文社
 コスモ石油(株)
 (株)産業経済新聞社
 サントリー(株)
 三洋電機(株)
 三和酒類(株)
 (株)ジェイティービー
 (株)ジェイブ
 (株)資生堂
 清水建設(株)
 (株)集英社
 (株)主婦と生活社
 (株)主婦の友社
 (株)小学館
 松竹(株)
 (株)新潮社
 新日本製鐵(株)

住友海上火災保険(株)
 住友生命保険(相)
 セイコーエプソン(株)
 (株)西武百貨店
 (株)西友
 (株)西洋フードシステムズ
 (株)世界文化社
 積水化学工業(株)
 (株)セゾン情報システムズ
 全国朝日放送(株)
 セントラル警備保障(株)
 (株)増進会出版社
 ソニー(株)
 (株)第一勧業銀行
 第一生命保険(相)
 (株)大広
 大正製薬(株)
 大同生命保険(相)
 大日本印刷(株)
 ダイムラー・クライスラー日本ホールディング(株)
 (株)ダイヤモンド社
 大和証券SMBC(株)
 武田薬品工業(株)
 (株)竹中工務店
 (株)タダノ
 中部ガス(株)
 TOA(株)
 TBS(株)東京放送
 (株)テレビ東京
 (株)電通
 東海旅客鉄道(株)
 東急建設(株)
 (株)東急百貨店
 東京ガス(株)
 東京急行電鉄(株)
 東京テアトル(株)
 東京電力(株)
 (株)東京ドーム
 (株)東京三菱銀行
 東光電気工事(株)
 (株)十勝毎日新聞社
 凸版印刷(株)
 トヨタ自動車(株)
 (株)トライグループ
 西日本旅客鉄道(株)
 (株)ニチレイ
 日産自動車(株)
 ニッセイ同和損害保険(株)
 日本興亜損害保険(株)
 日本酸素(株)
 日本電気(株)
 (株)ニッポン放送
 (株)日本ユニパックホールディング
 日本アイ・ビー・エム(株)
 (株)日本経済新聞社
 日本航空(株)

日本食研(株)
 日本信販(株)
 日本生命保険(相)
 日本たばこ産業(株)
 ノボ ノルディスク ファーマ(株)
 野村證券(株)
 バイオニア(株)
 (株)博報堂
 (株)パシフィックツアースステムズ
 (社)林原共済会
 (株)バルコ
 びあ(株)
 東日本電信電話(株)
 久光製薬(株)
 (株)日立製作所
 フィリップ モリス(株)
 (株)富士銀行
 富士ゼロックス(株)
 (株)フジタ
 富士通(株)
 (株)フジテレビジョン
 (株)文藝春秋
 本田技研工業(株)
 (株)毎日新聞社
 (株)マガジンハウス
 松下電器産業(株)
 丸紅(株)
 みずほインベスターズ証券(株)
 (株)みちのく銀行
 (株)三井住友銀行
 三井不動産(株)
 (株)三越
 三菱地所(株)
 三菱重工業(株)
 三菱商事(株)
 三菱信託銀行(株)
 メルシャン(株)
 (株)ヤギコーポレーション
 安田火災海上保険(株)
 安田生命保険(相)
 (株)山武
 ヤマト運輸(株)
 ヤマハ(株)
 (株)吉野工業所
 (株)吉野家ディー・アンド・シー
 (株)読売広告社
 (株)読売新聞社
 (株)リクルート
 リシュモンジャパン(株)
 (株)リプロ
 ルイ・ヴィトン ジャパン(株)
 ローム(株)
 ワールドエール(株)
 (株)ワコール

準会員

(特)アートネットワーク・ジャパン
 EU・ジャパン フェスト日本委員会
 茨城県
 オルフェウス室内管弦楽団
 神奈川県
 (社)企業メセナ群馬
 京都商工会議所
 京都橋女子大学文化政策研究センター
 (財)京都服飾文化研究財団
 (財)青春白樺美術館
 慶應義塾大学アート・センター
 (株)劇団影法師
 劇団四季
 (株)劇団飛行船
 (財)埼玉県芸術文化振興財団
 佐賀県企業メセナ協議会
 (株)シアターワークショップ
 (株)社会工学研究所
 (有)ジャパン・アーツ・リンク
 (財)自由時間デザイン協会
 昭和音楽大学
 (財)新国立劇場運営財団
 (財)セゾン文化財団
 大東文化大学書道研究所
 (財)たましん地域文化財団
 中央区文化・国際交流振興協会
 東海メセナ研究会
 (財)東京都歴史文化財団
 (財)堂本印象記念近代美術振興財団
 (株)トナカイ
 中札内美術村
 (社)日本演奏連盟
 (社)日本芸能実演家団体協議会
 (財)日本交通文化協会
 (財)八十二文化財団
 (株)ピー・エム・エフ センター
 (株)フジカルチャープランニング
 藤沢市
 (財)北海道文化財団
 (財)水戸市芸術振興財団
 山口市

(2001年10月1日現在・50音順)

(社)企業メセナ協議会の活動紹介

社団法人企業メセナ協議会は、企業による芸術文化支援活動を啓発・奨励し、わが国の芸術文化の向上・発展に寄与することを目的として、1990年に設立されました。企業のメセナ活動が推進される環境を整備すべく、さまざまな活動をおこなっています。

●—— メセナ活動調査

わが国の企業や企業財団によるメセナ活動の実態を毎年調査。その結果をオンラインデータベース「メセナビ」としてホームページで公開するなど、情報を提供しています。

●—— メセナ大賞

毎年、企業や企業財団がおこなったメセナ活動を募集し、特に優れた活動を選んでその功績を称えて表彰します。

●—— セミナー、シンポジウム

メセナや芸術文化を取り巻く諸問題をテーマに取り上げ、セミナーやシンポジウムを随時開催しています。

●—— 情報紙

企業メセナや文化行政、アートマネジメントなど幅広い情報を盛り込んだニュースレター『メセナノート』を隔月で発行しています。

●—— 助成認定

協議会が認定した芸術活動に対して企業や個人が協議会経由で寄付をすれば、税制上の優遇措置を受けられる仕組みを設けています。

●—— メセナ・コーディネート

メセナや芸術文化創造のインフラ整備に関する各種プログラムへの企画協力や、講師の派遣などをおこなっています。

●—— 国際交流

世界の企業メセナ組織との交流に努め、情報交換や国際会議への参加、海外視察団の派遣などをおこなっています。

●—— 情報ライブラリー

企業メセナに関する書籍や資料を自由にご覧いただけるよう、ライブラリーを設けています(要予約)。

詳しくは協議会のホームページをご覧ください。

<http://www.mecenat.or.jp/>



「メセナ大賞2002」の募集要項は、
2002年3月に発行する予定です。
詳細は企業メセナ協議会事務局まで
お問い合わせください。

大賞部会

メセナ大賞2001の運営ならびに応募案件の調査・取材は、
企業メセナ協議会・大賞部会メンバーがおこないました。

部会長	加藤恒夫	〔大日本印刷(株)〕
メンバー	石綿祐子	〔(株)社会工学研究所〕
	大森一正	〔日本生命保険(相)〕
	西田克彦	〔日本電気(株)〕
	西野正浩	〔(株)資生堂〕
	大和 滋	〔(社)日本芸能実演家団体協議会〕
	横尾 優	〔鹿島建設(株)〕
事務局	出口正之	(専務理事)
	角山紘一	(事務局長)
	荻原康子	
	若林朋子	
	渡辺真知子	

2001年12月6日 発行・社団法人 企業メセナ協議会



Association for Corporate Support of the Arts

社団法人 企業メセナ協議会

100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1

有楽町マリオン13階

Tel. 03-3213-3397

Fax. 03-3215-6222

URL <http://www.mecenat.or.jp/>

E-Mail mecenat@mecenat.or.jp